

地元関係組織と外部学生による 錦地域の健康・安心サポート事業

地域協議会名: にしき安心サポートチーム
活動期間: 平成24～26年度

山口大学医学部学生 等

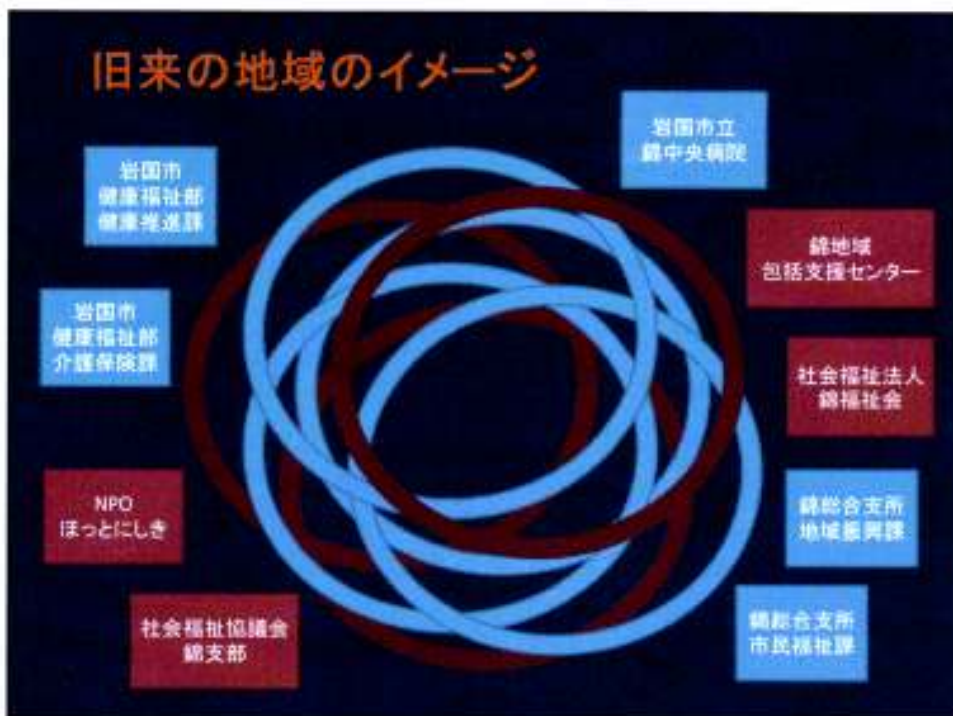
岩国市錦地域（旧錦町）



	岩国市錦地域
人口	2,983人
高齢化率	53.1%
世帯	1,555世帯
面積	210.32 km ²

日本の高齢化率 25.1%
山口県の高齢化率 29.2%

地域内に存在する集落の約70%が小規模高齢化集落





参加学生

- ・山口大学医学部
- ・山口大学教育学部
- ・防府看護専門学校
- ・山口コ・メディカル学院

3年間で約40名の学生が錦地域で活動

錦地域宇佐地区

錦地域の中心部から最も離れたところに位置する宇佐地区には、69戸117人(2011年4月現在、宇佐地区住民助け合い組織調べ)の住民が生活している。



寂地峡

宇佐地区 健康相談会



健康相談会での学生との交流、アンケート調査



健康相談会参加者アンケート結果

	1人暮らし (n=7)	家族と同居 (n=8)
日常生活満足度	7.0 (5-10)	9.5 (5-10)
主観的健康度	5.0 (5-10)	9.0 (8-10)
地域に対する満足度	8.0 (7-10)	8.5 (5-10)

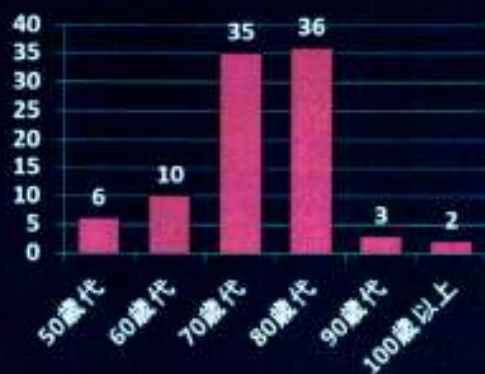
健康相談会に参加していない人の実態も把握するため、にしき安心サポートチームと地元ボランティアの「宇佐地区助け合い組織」の協力を得て、全戸訪問調査の実施へ

全戸訪問しての調査



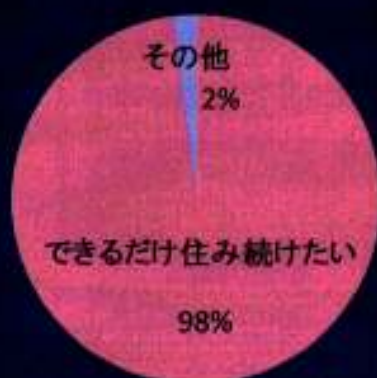
宇佐地区住民 生活・健康調査の結果

回答者数: 92人(住民実数の約80%)



男36人、女56人

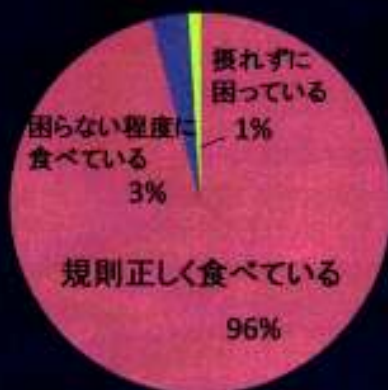
宇佐に住み続けたいですか？



- できるだけ住み続けたい
- 家族のところで同居したい
- 施設か病院に入りたい
- その他

普段、どのような食事を摂っていますか？

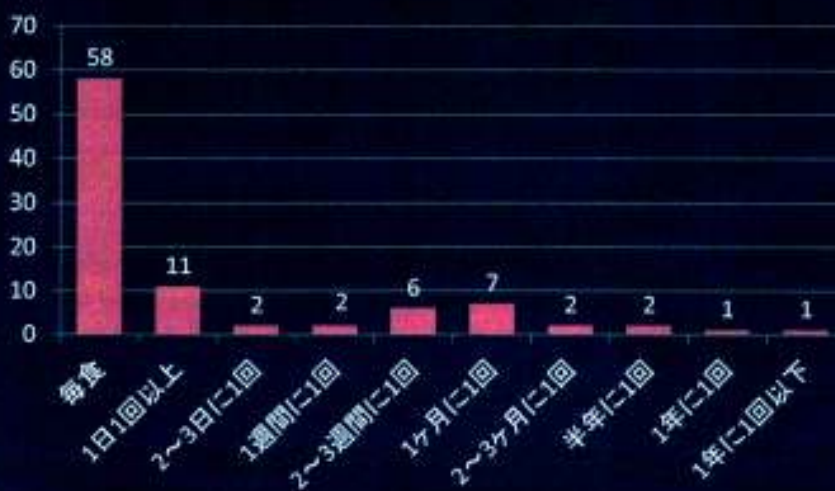
食事摂取状況



普段の食事内容



誰かと一緒に食事をする頻度はどのくらいですか？



アンケート調査結果説明会



結果説明会で挙げた意見(抜粋)

- ・地域内で人が集まる機会を作るために外部の人に来てもらいたい
- ・健康に関する情報が欲しい
- ・誰かと一緒に食事をする回数が年に1回以下という人がいるのは寂しい

お花見会の開催

- ・地域外の若者が参加する
- ・クイズやゲームによって健康情報を提供する
- ・手作りの昼食を共にする



お花見会の結果



住民の約半数がお花見会(昼食会)に参加

住民生活・健康調査の実施



広瀬商店街沿い

大原・道立野・落合地区集落への介入



宇佐地区と同様の調査や住民集会を経て、
・介護予防教室を開講、終了後はサロンとして存続
・解散していた老人会クラブが復活

地域行事への参加度の地区比較



他に比べて、宇佐は地区の共同作業への参加が少なく、
 広瀬商店街沿いは地区の祭への参加が少ない
 宇佐・大原は高齢化、広瀬は商売が不参加の理由として挙げられた

「にしきの支え合いを考える集い」の開催



- ・調査の結果報告
- ・地区別グループワークへの参加
- ・ブースでの血圧測定、健康相談

手作り健康ごはんの提供



地元のNPOが耕作放棄地で栽培した自然薯や、住民が出す朝市の野菜を食材に、福祉施設の栄養師がレシピを作成し、関係者、ボランティア、学生などが手作りした昼食を振る舞った

中山間応援隊と学生による調査



26年度事業として、野谷地区で中山間応援隊と学生が調査員になった訪問調査を実施中



サロンでの住民との交流



機会を見つけては、
錦地域内のサロンを訪問
学生達が自分達で考えた
クイズやゲームと一緒に
楽しんでもらっている



にしき安心サポートチームと学生の連携





はじめに

私たちは、中山間地域での行事の支援を目的に岩国YMCA国際医療福祉専門学校の保健看護学科、看護学科、医療秘書学科、介護福祉学科の36名で『地域ふれあい会』を結成しました。

地域の方々とたくさん触れ合う中から多くのことを学び地域の方も私達もお互いが楽しい時間を過ごそうと話しました。そして、私達の活動がわずかでも地域の活性化につながっていけばと思って活動してまいりました。3年間の活動の経過と、今後の課題をまとめましたので報告いたします。

地域交流の里と地域ふれあい会のメンバー



中山間地域活動 目的

自発的な地域づくりの実践活動を支援することにより中山間地域の元気創出・活性化に繋げていく。



活動地域：岩国市北河内天尾地区

- 錦帯橋から約20km錦川の上流に位置し、錦川清流線 北河内駅からほど近い地区



岩国市北河内 天尾地区の特徴

人口 425人

世帯数 233世帯

高齢者(65歳以上)人口割合
55.1%



北河内 天尾地区に起こっていること

若者の流出や著しい人口減少、高齢化の進行



従来の地縁的な繋がりが薄れている



- 同じ地区であっても家の中で倒れていてもわからない
- 行事を企画しようと思ってもできない
- 空き家が増加している

休校になった岩国市天尾小学校

天尾区の子供の数は現在2名



私たちができること (1)

岩国YMCA国際医療福祉専門学校の学生が参加することにより



私たちができること (2)

岩国YMCA国際医療福祉専門学校の保健、医療、福祉を学ぶ学生や教員が参加し、専門性を活かすことにより

地域住民の健康意識を高める

3年間の活動計画

年	活動内容
1年目 (平成24年度)	地域交流の里で毎年取り組んでいる地域資源を活用した行事に実際協力し、まずは地域の住民と交流を深めることを重点に活動する
2年目 (平成25年度)	行動に協力してもらいながら、学生が主体となって天尾地区住民の健康チェックを行うことで、地域住民の健康面でのサポートにも取り組む
3年目 (平成26年度)	行事の協力を得ながら、より学生が主体となった企画を検討し、また、保健医療福祉の特性を生かして天尾地区の地域住民の健康福祉向上に取り組む

1年目の活動

わたしたちには初めての活動で天尾小学校最後の運動会

地域交流の里で毎年取り組んでいる地域資源を活用した行事に実際協力し、まずは地域の住民と交流を深めることを重点に活動

運動場整備から活動が始まりました



綱引き



応援団

竹林整備・餅つき



2年目の活動

行動に協力してもらいながら、学生が主体となって天尾地区**住民の健康チェック**を行うことで、地域住民の健康面でのサポートにも取り組む



高齢者の健康チェック



お家はどこかな？



居宅訪問

サマースクール

竹筒でご飯作り



ドラム缶お風呂



テントにお泊り



そうめん流し



川の中のプール



田植え・稲刈り



3年目の活動

行事の協力を得ながら、**より学生が主体**となった企画を検討し、
また、保健医療福祉の特性を生かして天尾地区の地域住民の健康福祉向上に取り組む



二輪草まつり



二輪草

大人気の
ちよるる



お弁当販売



私達が参加したことによる効果 北河内天尾地区の皆さんの言葉

雰囲気
が明る
くなった

行事に
参加する
子供が
増えた

高齢者
も顔を
出すよ
うにな
った

行事を
開催す
るにも
余裕が
できた



米軍の方達との交流もある

岩国米軍基地の方も参加し、一緒に
日本の文化に触れあってもらおう



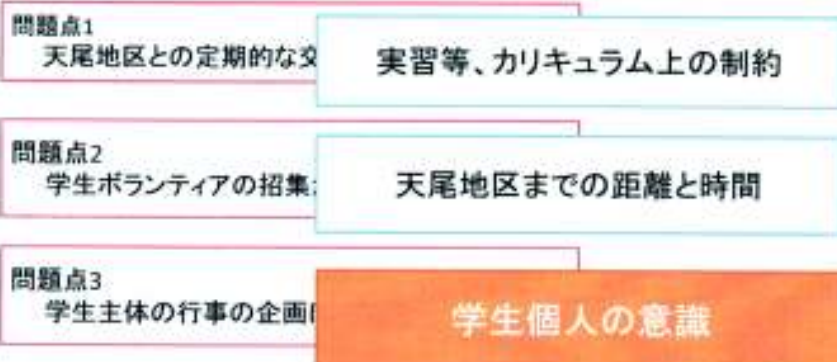
- 国際交流ができる
- 日本の文化を紹介し、日本の魅力を感じてもらおう
- 天尾地区の良さを知ってもらおう
- 友達が増える
- 岩国に馴染みをもってもらおう



天尾地区の皆さんより地域ふれあい会に期待すること

- 学生が主体となって地域に入ってボランティアに参加してほしい。
- 地域の行事の時だけでなく、行事の無い時にも地域に入ってほしい。
- 小学生などの子供にも来てもらい自然に触れる機会を作りたい。
- 休校中の小学校の活用方法を検討したい。
- 「ふるさと」を活かした交流の場にしたい。

現在の活動の問題点と考えられる要因



私たちに出来ること 今後の課題



おわりに

私は3月5日で卒業しました。
2年間ではありましたが、北河内天尾地区の皆さん、行事に参加された皆さん、また米軍基地の子供たちやご家族、たくさんの方と触れ合うことができました。
ふれあいを通じて様々な考え方や価値観も知ることができました。この学びは、これからの社会生活へも役立てることができます。たくさんの体験ができたことに、とても感謝しています。
私は卒業しましたが、仕事の合い間をみて、北河内へ行き、行事のお手伝いをしたいと思います。そして、多くの岩国YMCAの学生が地域を理解する努力をし、今後の活動に参画してくれることを願っています。



DIYによる空き家再生プロジェクト in 中須北



中須北古民家再生プロジェクトチーム

ヤマグチDIY部

活動対象地域の概要

山口県周南市中須北地区



- 山口県周南市の中心から20km北東に位置
- 標高300mの中山間盆地
- 県の棚田20選に選ばれるほど美しい田園景観が見られる

一方...

過疎高齢化に伴う、人口減少と空き家の増加が深刻な問題となっている



再生する空き家の概要



改修前の空き家の外観



改修前の空き家の内観

活動の概要

2012年

地域住民から空き家の有効活用方法を
提案してもらえないかと依頼された



休日を利用して地域住民と共に空き家の再生案の検討



住民との意見交換会



地域に関する勉強会



古民家再生案の作成
地域での発表会

《再生案》中須北棚田情報交流館“中須本陣”



活動の概要

2013年～

再生案に基づき、DIYにより改修を開始



屋外モルタル打設



鉢置きづくり



漆喰塗り(屋内)

改修活動メンバーの構成

13人 → 54人

(2013年4月) (2014年10月)

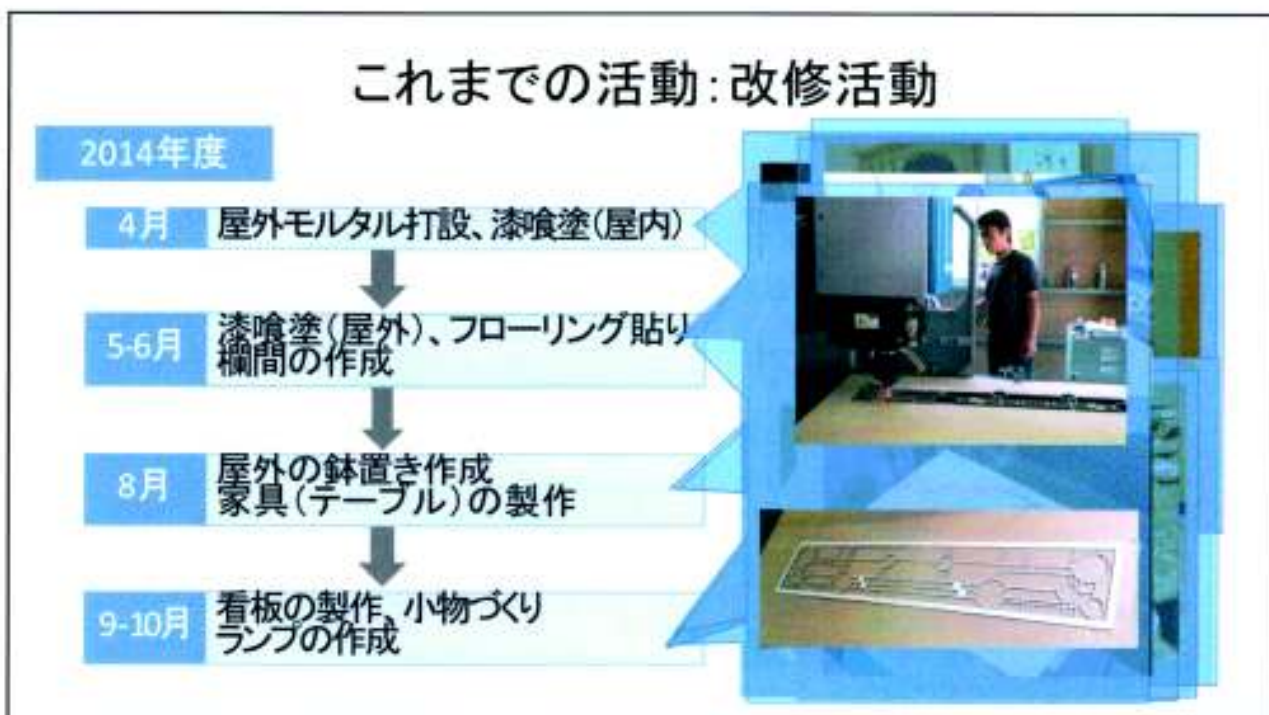
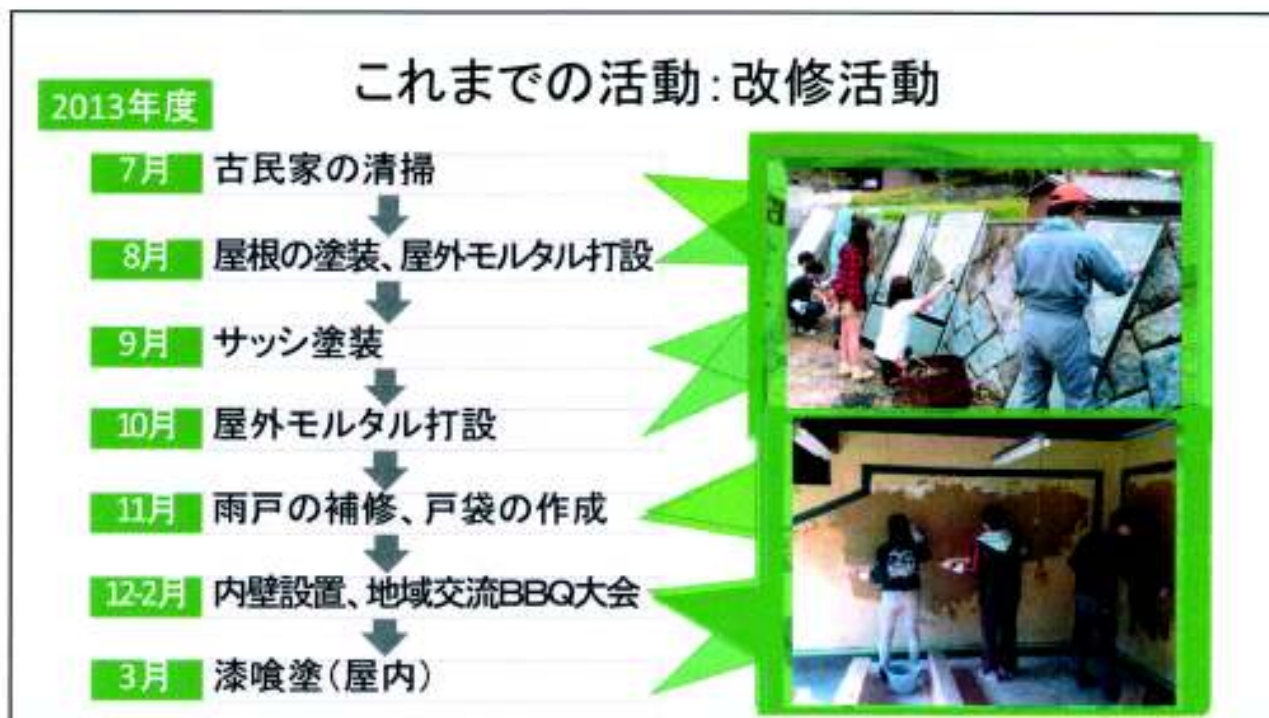
(内訳)

- 高専生25名
- 高専OB・OG7名
- 高専教職員2名
- 山口大学生4名
- 小学生3名
- 市職員など3名
- 地域住民(棚田清流の会の会員)
10名



活動の様子





空間をトータルにデザインするには...

大工、建築、家具職人、電気技師、
小物づくりなどの様々な技術や知識が不可欠



色々な立場、経験のあるメンバーが増えることで
やれることが広がっている

メンバーは互いの得意分野を教え教えあう関係
できないことができるようになることは
大人にとっても楽しい



今後の予定



最後に...

この活動では「ものづくりを楽しむ気持ち」や「遊び心」が地域の様々な人をつなぎ、活動の幅が広がっています。

一緒に楽しみたいという方なら、子どもからお年寄りまで誰でも大歓迎です。

この発表を機に、興味を持たれた方がおられましたら、ぜひ山口県中須北地区にお越しください！！

DIY (Do It Yourself) で地域やあなたの可能性を広げましょう！！

ご清聴ありがとうございました